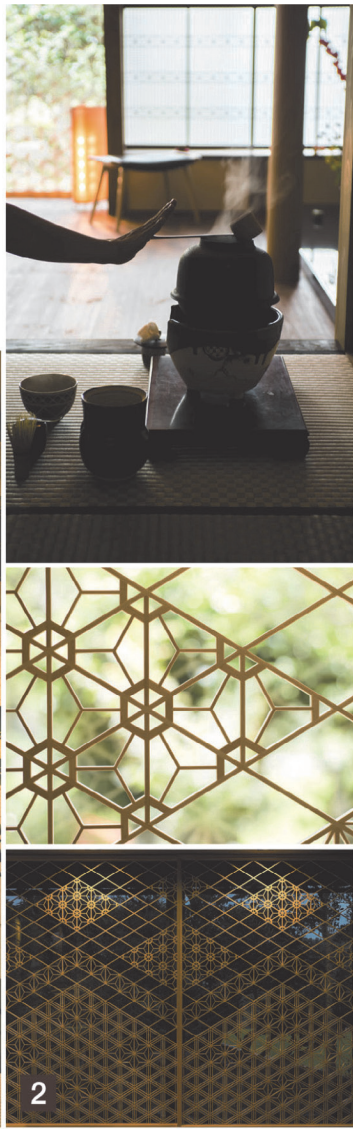




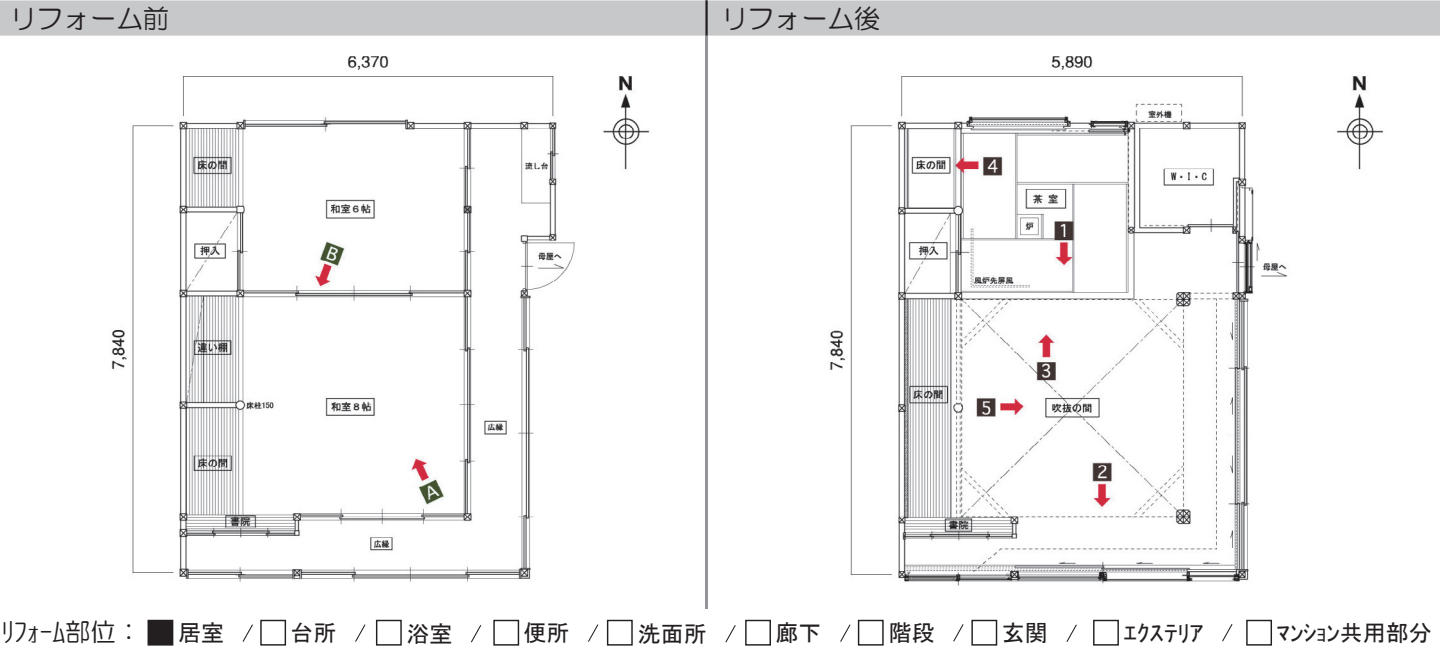
リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

曾祖父が庭を見る為に母屋に隣接して建てられたという80年の時を経た純和風建築の改装です。動機は、誰も利用する事が無くなってしまった曾祖父の思い出の深い家をきれいになりたいというご要望からでした。床の間の大谷石・名栗加工の床材・数種類のアジロ天井・市松編みのわら畳・2脚の北欧の椅子等、お施主様と一緒にこだわりました。南側には、桜・麻・胡麻の3種の模様の組子障子戸をオリジナルに製作しました。また、南の庭を眺められるように組子の隙間から庭を楽しむ事が出来ます。梁上部や跳出天井に取り付けた間接照明の配置の工夫

夫や、茶室の床柱・床框・落掛け・欄間・書院等、既設材を活かしました。使い勝手を兼ね揃えた上品な質感とディテールを組み合わせ、トータルの空間デザインに配慮しています。この改装に際し、お施主様と一緒に茶道を習い始めました。総合芸術である茶道は、空間デザインと精通している点が多い事に気付かされました。完成後、ご親戚、ご友人をお招きして、お茶会を開いておられるそうです。思い出の深い曾祖父の家が一新された事で、世代を繋ぎ後世に残していく事が出来ると大変喜んで頂きました。

性能向上の特性	特に配慮した事項
建物全体の金物補強、断熱性・気密性の向上	茶室を小上がりにし、茶室からも板間からも庭を組子障子越しに最も美しく調和して見えるよう設えました。また古材の趣きと広さを活かす為に、各素材を照らす間接照明で空間に奥行きを与えました。

データ						
所在地	広島県三原市		築後年数	80年	施工期間	120日間
該当工事面積	47.06㎡ / 総工事床面積 47.06㎡		該当部分工事費	1,045万円 / 総工事費 1,045万円		
居住者構成	15歳以上64歳未満：2人、 65歳以上：2人、 15歳未満：0人、 ペット：犬1匹					



空き家再生特別賞 【作品部門】

講 評

この作品は、地域に眠る空き家ストックの創造的な利用法の好例である。広島県三原市の旧家であり、80年前に曾祖父が建てた実家の離れを、若い夫婦が「茶室のあるウィークエンドハウス」として再生させた。主をなくして長く空いていたものだが、当時の思いが詰まった建物であるが故に、「手を入れるなら世代を超えて使われるものに」との思いで、リフォームに踏み切った。

この作品のすばらしさは、何と言っても質の高いデザインとそれによる独特の居心地のよさにある。例えば、庭を眺めるフィルターとして設えられた組子障子は、島根の職人の手による特注品だが、繊細極まる工芸品とはあえてせず、暮らしのなかで気兼ねなく扱える適度な太さでデザインされている。そうしたバランス感覚のひとつひとつが、ここを「日常」とも「非日常」ともつかない独特な場所につくりあげている。それは、施主と設計・施工者がはじめに描いた「カジュアルな茶室」というコンセプトが実を結んだものでもある。ここに訪れた人は「時間を忘れてくつろげる」、「パワースポットみたい」と口をそろえて言うとのことである。

魅力的な空間には人を引き寄せる力がある。新しい主となった夫婦はほぼ毎月ここでの時間をゆったり過ごすとのことであり、ウォークインクローゼットには音楽鑑賞用の大きなスピーカーが収納されている。このスペースは、お二人がいる／いないに関わらず、母屋に住む両親や弟一家、親戚、時にはご近所の方々が集うコミュニティの起点になっている。ちなみにこのスペースは、ご両親からは「座敷」と呼ばれているそうである。

みんなで宴会をしたり、寝泊まりをしたり、近所の子もたちがお茶に親しんだり、「この場ができたことで増えたつながりがたくさんある」とのことである。

ものづくりのチームワークもすばらしい。施主である夫婦と設計・施工者とは、7、8年前に行った広島市内の自宅マンションのリフォーム以来、タッグを組んだのはこの作品で2度目である。「こだわることにとことん付き合ってくれる」というご主人の言葉の通り、納得のいく茶室をつくるため、施主、設計・施工者のみなでお茶を習い始めるまでの同志となった。時間をかけた信頼とチームワークの積み重ねが、アイデアとこだわりが詰まったこの作品のベースにはある。みんなで始めた茶道教室通いは、いまでも一緒に続けているとのことである。

これから世帯の数が減少に転じて行くであろうが、空いた住宅ストックの創造的な利用法は様々なかたちで現れてくるに違いない。その好例とも言えるべきこの作品は、空き家からウィークエンドハウスへの再生を通して、「住まい」や「暮らし」の枠組みを豊かに広げ、家族・親族・地域との新しいつながりをも生み出している。そして、それは人を惹き付けるこの空間の魅力が可能にしたものである。空き家の利用を巡るつくり手・使い手・地域のユニークな関係が見られる作品であり、分野別特別賞にふさわしいものとして高く評価した。